



2013年10月31日

各位

会社名 株式会社りそなホールディングス
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 東 和浩
 (コード番号 8308 東証一部)

2014年3月期 第2四半期(累計)の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2013年5月10日に公表した2014年3月期第2四半期(累計)の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について (金額の単位：億円)

1) 2014年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正 (2013年4月1日～2013年9月30日)

	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	1,100	700	28円65銭
今回発表予想 (B)	1,700	1,200	50円60銭
増減額 (B-A)	+600	+500	—
増減率 (%)	+54.5	+71.4	—
ご参考:前期第2四半期実績※	1,350	1,756	71円92銭

※2013年3月期 第2四半期(累計)

2) 修正の理由

当社傘下銀行において、実勢業務純益が順調に推移していることに加え、与信費用が予想を下回る見込みとなったこと等から、経常利益および中間純利益について、前回発表予想比で上方修正するものです。なお、個別業績予想数値に関する修正はございません。

2. 2014年3月期通期 連結業績予想について

2014年3月期の業績予想につきましては、現時点において修正はございません。

なお、詳細につきましては、第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

【ご参考】

(1). 2014年3月期第2四半期(累計)傘下銀行合算の業績予想

- 傘下銀行合算の実勢業務純益は、前回発表予想比+25億円の1,175億円となる見込みです。これは、投資信託を中心とした金融商品販売が好調であったこと、等によるものです。
- また、株式等関係損益の改善に加え、与信費用の発生が低水準で戻入益を計上したこと(前回発表予想比+355億円)等から、傘下銀行合算の経常利益は、前回発表予想比+580億円の1,580億円となる見込みです。
- 以上により、傘下銀行合算の税引前中間純利益は、前回発表予想比+595億円の1,565億円、税引後中間純利益は、前回発表予想比+435億円の1,075億円となる見込みです。

(金額の単位：億円)

	傘下銀行			傘下銀行 合算(概算)	前回発表予想比	前年同期比
	りそな	埼玉りそな	近畿大阪			
業務粗利益	1,890	690	275	2,855	+35	△46
経費	△1,105	△385	△195	△1,680	△10	△17
実勢業務純益 ^(注)	785	305	80	1,175	+25	△62
経常利益	1,185	315	70	1,580	+580	+366
税引“前”中間純利益	1,175	315	70	1,565	+595	+354
税引後中間純利益	835	200	40	1,075	+435	△531
株式等関係損益	195	—	5	200	+200	+378
与信費用総額	150	5	△15	145	+355	+33

(注)「実勢業務純益」は、信託(勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入前)の業務純益

(2). 金融再生法基準開示債権(傘下銀行合算)の見込

(金額の単位：億円)

(銀信合算)	2013年9月末	2013年3月末	増減
開示債権 計 (A)	5,259	5,652	△392
破産更生債権等	618	703	△84
危険債権	3,306	3,457	△150
要管理債権	1,334	1,490	△156
正常債権	269,127	268,627	+500
総与信 (B)	274,387	274,279	+108
不良債権比率 (A)/(B)	1.91%	2.06%	△0.14%

(3). その他有価証券の評価差額(傘下銀行合算)の見込

(金額の単位：億円)

	2013年9月末		2013年3月末		増減	
	貸借対照表 計上額	評価差額	貸借対照表 計上額	評価差額	貸借対照表 計上額	評価差額
その他有価証券 ^(注)	79,084	2,942	79,528	2,575	△444	+366
債券	68,868	41	69,906	283	△1,037	△242
株式	6,256	2,922	5,587	2,217	+668	+705
その他	3,958	△21	4,034	74	△75	△96

(注)時価のある有価証券のみを対象として記載しております。なお、「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の一部が含まれております

以上